

海外視察等をカリキュラムに入れるなど、各大学では国際的なアプローチが増加しているが、学生の中では必要不可欠な部分であるという認識はされていないように思われる。

日臨技でも、国際化の一貫として国内での国際セミナーを企画することを提案する。費用の面でも時間の面でも参加する会員にはメリットが大きい。

☆Student forum に関して

某医科大学では高校生医学部教室実験体験コースを企画し、医学部への興味を促そうという企画を実行している。

日臨技でも大学生ばかりでなく臨床検査技師になる可能性のある高校生をも範疇に入れた海外学会参加補助を企画し、大きく公募してはどうかであろうか。

AAMLS も含め、アジア近隣諸国での学会の際における student forum 参加への助成などは日臨技にとっても参加にとっても、時間的・経済的に無理のない範囲であると考えている。日臨技の人材育成の一貫として一考を望む。

4. 最後に

「ライシャワーの昭和史」にでてくる、ライシャワーのコメントが気になった。

日本人へのアドバイスをと聞かれると、不機嫌そうに、「早く人類の仲間に入れ」といったそうである。

ライシャワーも、痛切に日本人がグローバル化についていないと、当時感じていたのであろう。

全く日本は世界に興味がないか？といわれると、そうでもない。例えば、アマゾンのサイトについて、グローバル化をキーワード検索すると、約 7,000 件でてくる。

日本人の根源的な強さは、絶え間なく色々なものを外部から取り入れて、それを日本的なものに変えながら、自分たちのものとして取り込んできたことにある。

そして、こうした外部新奇性の獲得プロセスの場合にもそうであるが、何事においても、終わることのない精緻化を行い、オリジナルをはるかに凌ぐものへと究めていくところが最大の強みだと考える。

それは、日本人の自己構造と深く関係していると考えている。絶対的な自己をもつ西洋と違って、相対的自己構造をもっており、それがベースにあるため、集団内で相互主体性、つまり、共通理解がうまれる。日本人の強みを自覚し、それを生かすことがグローバル社会において活躍できるヒントだと考える。昭和から平成へと時代は流れた。日本人のグローバル化はどのように評価されているのであろうか。

日臨技における国際活動は IFBLS だけではなく、他の国際関連事業も存在し相互に関連しているが、本報告は IFBLS に関するものとした。日本では過去において 3 人の IFBLS 理事が評議員となり、日本の技師会との連携に貢献している。

今回 Expert group への企画立案・実行と継続的な日本技師会の支援実績・組織力が高く評価され、「IFBLS のリーダーを日本から」の要望も出ている。

一連の活動の継続と、日本技師会のグローバル化を推進することを希望する。臨床検査部門の世界レベルでの発展を期待する次第である。

◆ 英文メールの互知識

IFBLS の理事会 (Council Meeting) は、学会時を含めた年 2 回程度の face to face の会議を除き、通常はメール会議である。各理事は役割分担がなされ、報告あるいは意見を送受信する。

メールは会話に近いものから、電子投稿論文などに付ける formal letter の部類に属するものまで多岐にわたる。

世界の情報をインターネットで入手しているかたも多いだろう。英文メールでのやり取りは今後ますます必要となる。日本語の場合も同じであるが、メールは送信したら取り消せない。

また、短文なので誤解が生じることもある。要領の良い、かつ

正確に内容が伝わるメールを出せるようになりたいものである。国際学会などで知り合った海外の方々に名刺を頂くことがある。そのままにせず、お礼や greeting card、メールなどを出して友情を keep してはいかかであろうか。

◆ 冒頭の文章：

親しい友人以外には family name で呼びかけるのが通常である。医師あるいは PhD の称号がある人には、それを優先的に使用する。たとえば Robert Smith 氏にメールを出す場合、

彼が友人の場合には：Dear Robert,

学位を持たない知り合いの場合：Dear Mr. Smith,

学位を持つ場合：Dear Dr. Smith,

教授の肩書きを持つ場合：Dear Professor Smith, となる。

女性は既婚か未婚かで Mrs. と Miss を使いわけが、不明な場合は Ms. を使う。Dr. や Professor の肩書きをつけるのは男性の場合と同じである。

男女がわからない場合、Dr. や Professor の肩書きがあれば使用可能である。どうしてもわからない場合、Dear Sir or Madam などを使うこともある。

学位で呼びかけるときには、フルネームで書かない。つまり Dear Professor Robert Smith, とは書かない。なお Prof. と省略するのは好まれないので注意を要する。

◆ 挨拶の次にくる文章

I was delighted to hear from you.

御連絡頂き、大変嬉しいです。

It was great to meet you in Japan.

日本でお会いできて大変光栄です。

Thank you so much for sending me a photo.

写真をお送りくださり、大変感謝しております。

◆ 文章の最後

非常に堅苦しいメールの場合：Yours faithfully, + 姓名

形式的な間柄の場合：Yours sincerely, + 姓名

少し形式的な間柄の場合：Regards, + 姓名

打ち解けたメールの場合：イニシャル。

Best Regards, は通常 Best regards to your wife など、句の中で使われることが多い。

Attached, please find・・・貼付ファイルがある場合

【小松京子】

第 28 回日本医学会総会 2011 年 4 月 東京で開催！

第 28 回日本医学会総会が、「いのちと地球の未来をひらく」と題して、来年 4 月 8 日(金)から 10 日(日)に東京国際フォーラムを会場として開催される。

これに併せて東京国際展示場(東京ビッグサイト)において一般向けの博覧会が開催される。

開催期間は本会よりも長く 2011 年 4 月 2 日(土)から 10 日(日)までの 9 日間で「わが国 医学・つくりよう！

健康 EXPO2011」をテーマとしている。

このテーマである「・・・健康 EXPO2011」は、昨年度開催された「けんさ EXPO」をモデルとしており、医師会からの要請によるものである。

日臨技としても会員の参加を呼びかけ、臨床検査技師の一般健診項目に対し技術協力を図る予定としている。

